
田中貴金属工業、燃料電池用触媒を開発・製造する専用工場を建設

燃料電池自動車や「エネファーム」など分散型電源向けの需要増に対応、
燃料電池用触媒製造のマザー工場として位置付け

TANAKA ホールディングス株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岡本英彌)は、燃料電池用触媒で世界トップシェアを誇る、田中貴金属グループの田中貴金属工業株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:岡本英彌)が、湘南工場(神奈川県平塚市)の敷地内に、燃料電池用触媒の専用工場を建設することを発表します。

約10億円を投資して、湘南工場内に延べ床面積1,000平方メートルの専用工場を新設し、現在、平塚テクニカルセンター(神奈川県平塚市)にある燃料電池用触媒の研究開発や製品検査、出荷の機能と、湘南工場にある製造の機能を、専用工場内に移転統合します。これにより、燃料電池用触媒の開発と製造の体制を更に強化できることに加え、今後見込まれる触媒の需要増に合わせて工場を増設するためのマザー工場に位置付けることで、生産能力を迅速かつ柔軟に増強できるようになります。専用工場は2013年3月に竣工予定で、順次機能を移転し、同年10月に本格稼働する予定です。

専用工場では、燃料電池自動車(以下FCV)や家庭用燃料電池「エネファーム」などのコージェネ分散型電源(熱電併給)に使用される固体高分子形燃料電池(以下PEFC)の電極触媒を開発・製造します。PEFCは小型軽量で高出力を発揮でき、水素と酸素の化学反応を利用した地球に優しい、新しいエネルギー技術として利用が期待されています。田中貴金属工業では、永年培ってきた貴金属触媒技術ならびに電気化学技術を結集し、PEFCのカソード(空気極)用に高活性な白金触媒を、アノード(燃料極)用に耐一酸化炭素(CO)被毒特性に優れた白金合金触媒を開発しています。



PEFC用電極触媒

現在、各自動車メーカーは、FCVの普及開始目標時期となる2015年を前に、実用化に向けた研究開発を進めており、自動車用の触媒需要は今後さらに増えると見込まれます。また「エネファーム」は、2009年に発売されて以降、急激に市場が拡大しており()、家庭用の触媒需要も今後さらに増えると見込まれます。こうした市場の動きを受けて、田中貴金属工業では、現在の触媒製造体制では将来的な製造の拡張性が確保できないと判断し、専用工場の建設を決定しました。

今後は、燃料電池触媒の高耐久化と、高性能化による白金使用量の削減を目指して、引き続き研究開発に注力しながら、2013年4月には触媒の開発・製造を事業部化し、さらなるコストダウンを図れるように工程改善などに努めることで、燃料電池事業の更なる拡充を図ってまいります。また、希少な貴金属資源である白金のリサイクル技術を駆使して、燃料電池の普及に向けたトータルサポートを進めてまいります。

なお、来る2月27日(水)から3月1日(金)の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)で行われる「FC EXPO 2013 ~ 第9回 [国際] 水素・燃料電池展 ~」にPEFC用電極触媒を出展します。展示ブース(西4ホール w45-61)では、常駐する技術担当者に取材も可能です。

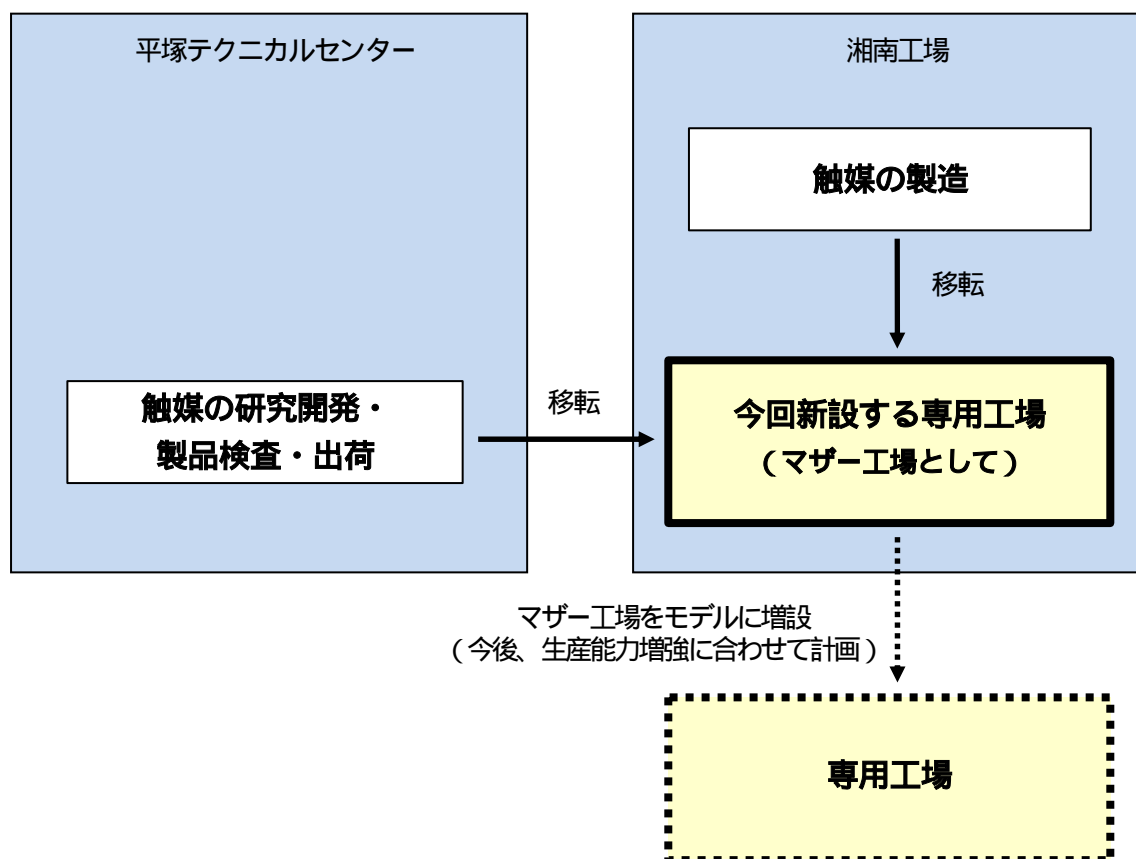
【燃料電池用触媒専用工場の概要】

- ・所在地：田中貴金属工業株式会社 湘南工場(神奈川県平塚市)の敷地内
- ・延べ床面積：1,000平方メートル(1階建て)
- ・事業内容：固体高分子形燃料電池用電極触媒の研究開発、製造、製品検査、出荷
- ・備考：2013年3月に竣工予定、同年10月に本格稼働予定



専用工場のイメージパース

【燃料電池用触媒専用工場概念図】



()「エネファーム」の購入費用を国が一部支援する補助金制度について、2009年度の交付決定台数は5,030台、2010年度の交付決定台数は4,985台、2011年度の申込受理台数(2012年4月4日までの通期集計)は18,067台でした。なお、2012年度の申込受理台数状況は、2012年12月13日までの集計で14,806台です。(一般社団法人燃料電池普及促進協会によるデータ)

TANAKA ホールディングス株式会社（田中貴金属グループを統括する持株会社）

本社：東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長 岡本 英彌

創業：1885 年 設立：1918 年 資本金：5 億円

グループ連結従業員数：3,869 名（2011 年度）

グループ連結売上高：10,640 億円（2011 年度）

グループの主な事業内容：貴金属地金（白金、金、銀 ほか）及び各種工業用貴金属製品の製造・販売、輸出入及び貴金属の回収・精製

HP アドレス：<http://www.tanaka.co.jp>

田中貴金属工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内 2-7-3 東京ビルディング 22F

代表：代表取締役社長 岡本 英彌

創業：1885 年 設立：1918 年 資本金：5 億円

従業員数：1,663 名（2011 年度） 売上高：10,362 億円（2011 年度）

事業内容：貴金属地金（白金、金、銀ほか）及び各種工業用貴金属製品の製造・販売、輸出入及び貴金属の回収・精製

HP アドレス：<http://pro.tanaka.co.jp>

<田中貴金属グループについて>

田中貴金属グループは 1885 年（明治 18 年）の創業以来、貴金属を中心とした事業領域で幅広い活動を展開してきました。2010 年 4 月 1 日に TANAKA ホールディングス株式会社を持株会社（グループの親会社）とする形でグループ再編が完了しました。ガバナンス体制を強化するとともにスピーディな経営と機動的な業務執行を効率的に行うことにより、お客様へのより一層のサービス向上を目指します。そして、貴金属に携わる専門家集団として、グループ各社が連携・協力して多様な製品とサービスを提供しております。

国内ではトップクラスの貴金属取扱量を誇る田中貴金属グループでは、工業用貴金属材料の開発から安定供給、装飾品や貴金属を活用した貯蓄商品の提供を長年に渡り行ってきました。今後も貴金属のプロとしてグループ全体で、ゆとりある豊かな暮らしに貢献し続けます。

田中貴金属グループの中核 8 社は以下の通りです。

- ・ TANAKA ホールディングス株式会社（純粹持株会社）
- ・ 田中貴金属工業株式会社
- ・ 田中貴金属インターナショナル株式会社
- ・ 田中貴金属販売株式会社
- ・ 日本エレクトロプレイティング・エンジニアーズ株式会社
- ・ 田中電子工業株式会社
- ・ 田中貴金属ビジネスサービス株式会社
- ・ 田中貴金属ジュエリー株式会社